

府北部に大学連携機構

府と7市町、11大学が計画

京都府や北部7市町と府内の11大学が、地域と大学が共同で取り組む事業を仲介したり、人材育成を担う「府北部地域・大学連携機構」(仮称)の立ち上げを計画している。府内における大学の「南北格差」を是正し、府北部で大学の研究活動を広げていくのが狙い。2011年度の設定を目指している。

府調整課によると、紹介してくれる窓口を京都市など府南部に大求める声もあるという。綾部市以北には福知山市の成美、このため、府や市町、大しかない。各市町が大学のほか、自治会や大学と連携しようにも民間団体、企業が参加遠距離など不利な状況する連携機構を充足さにあり、大学側も北部せる。市町が抱える課題で調査や研究活動を展開に大学が連携して取る際、教員の個人り組む事業の仲介▽コ的な関係に頼る場合がーディネーターになる多く、活動できる場を人材の育成▽大学が調

格差是正、研究を拡大

査研究活動できる場所の情報提供▽現地での講義や遠隔授業の実施—などに取り組む。

府や7市町、同志社大、龍谷大、京都府立大など11大学が2月に研究会を設け協議を進めており、設立後は機構に参加する大学や団体を増やしていく方針。

府調整課は「大学がほとんどない地域にこうした連携組織ができるのは全国でも初めての試み。大学の北部進出は難しいが、機構を設置すれば、同じような役割や効果が期待できる」と話している。

(多和常雄)